

【苦前町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

世界的なデジタル化、オンライン化が普及していく中で、学校もICTを活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現が目指されている。

第1期GIGAスクール構想にて整備した1人1台端末、周辺機器、校内ネットワーク環境に続き、第2期に向け端末を更新、新たな端末を用いて、児童生徒が持つ個々の能力を最大限引き出し、持続可能な社会の担い手となれるような能力を育成していく。

2. GIGA第1期の総括

GIGA第1期の取り組みとして、令和2年度に町内小中学校のICT端末の購入を実施。校内ネットワーク環境についても整備し、ICT端末を活用した教育の基盤を構築した。

さらに、クラウド型校務支援システムやデジタル教科書の導入等により、ICTを活用した教育に資する環境を整備してきた。

教育委員会と学校現場の協働により、ICTの活用方法についてのノウハウを蓄積し、効率的かつ効果的な教育の実施ができています。

一方、近年では生徒用端末の故障が頻発しており、既存の端末の活用に限界が見えてきており、また、端末のスペックも低く、使用したいソフトウェアが使用できないなどの支障があるなどの課題も判明した。

当該課題を踏まえ、令和7年度に端末の更新を行い、第2期GIGAスクール構想の実現に向けて行動する。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA第1期にて、学校での教育活動を始め、児童生徒が自宅学習でもICT端末を利用することが日常的となっており、今後もICT機器を活用した学習が必要不可欠であることから、令和7年度中に性能の良い端末に更新し、さらなる機器の利活用を促進する。

現在、学習者用及び指導者用のデジタル教科書の導入を進めており、クラウド型の校務支援システムを導入するなど、児童生徒の学習環境はもとより、教員の勤務環境においてもICT化を推進している。

今後は、デジタルドリルの導入、教員・生徒・保護者が共有できるクラウドシステムの導入など、より一層のICT化に向けた取り組みを推進する。

また、学校内におけるICT担当教員の配置、教育委員会との連携強化により、一体的にICT機器活用方法のブラッシュアップを図る。

不登校児童生徒などに対し、オンラインでの学びが可能となるよう学校と協議し、実施していく。

ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向け、学校と連携を図りながら、学び方、関わり方について研究を重ね合う。